

## 林業とは

## 森林を育てて活かす仕事

日本は、世界屈指の森林国です。その豊かな環境を活かし、木を植え、育て、生育した樹木を伐採し木材資源として生活に役立ててきました。

林業は樹木を伐採した後には苗木を植え、豊かな森林に育つよう下刈りや枝打ち、間伐を行いつつ百年先に豊かな森林を伝えていく息の長い持続可能な仕事です。

手入れが行き届いた森林は林内が明るく、多様な生態系も守られ、水や空気を作り出し、人々に潤いを与えてくれます。また、森林は、二酸化炭素の吸収源でもあり地球温暖化防止にも大きく貢献しています。

現在、戦後に植栽された木が十分に育ち、資材として利用できる段階になっています。

しかし、森林の手入れは遅れがちになっています。先人の残してくれた森林を未来に届けるために、今、森林で働く担い手を必要としています。

一方、林業は、労働災害が他産業に比べて多く発生している産業で、一層の災害防止の取り組みが求められています。

本誌では、新潟県各地の森林で働く人たちの安全を守る取り組みについて、現場の写真と共に紹介していきます。

## 目次

林業作業の危険性と安全対策…………… p.02

### 【安全対策事例】

● フォレストワーカー育成研修  
林業の労働安全…………… p.04

● フォレストワーカーフォローアップ研修  
チェーンソー伐倒トレーニング…………… p.06

### 【林業事業体レポート】

● 魚沼市森林組合…………… p.08

● 有限会社阿部林業工務店…………… p.12

● 新潟県森林組合連合会…………… p.16

緑の担い手を指すには…………… p.20



木材として利用するために木を伐り倒します。主伐できる大きさに育つまでに、50～80年以上の年月が必要です。

伐倒木の枝を払い、利用目的に適した長さに玉切り造材して、林道端などに集めます。

搬出・利用

集材された丸太を木材市場や製材工場などに運び資材として利用します。



地拵え  
(じごしらえ)

伐採後、植栽するために、散乱した伐採木、枝葉や残木を取り除き整地します。

植栽

地拵えした林地に、新しい苗を植えます。



雪起こし

雪圧によって倒れた幼齢木を起こし、縄などで固定し、木を垂直に育てます。

下刈

周りの雑草木が苗木の生育を妨げないように、刈り取ります。



除伐

植栽木の生育を妨げる雑木や、曲がったり、生長の悪い木を除去します。

枝打ち



節のない上質な木を育てるために、下枝を切り落とします。

間伐

健全な森林に導くために、混み合った木を間引きします。利用できる大きさに達した木は搬出して利用します。



主伐  
(伐採)

造材・集材

## 持続可能な林業の作業

成林